



岩手大学平泉文化研究センター設置10周年記念講演会

奈良文化財研究所の歴史・最近の取組 ～平泉研究による国際交流と地域貢献の可能性

本中 眞 氏

(独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所所長)

講師略歴：奈良国立文化財研究所の主任研究官等を経て、平成6年（1994）から平成27年（2015）まで、文化庁記念物課に勤務。主任文化財調査官として世界遺産登録の推進、名勝の保護、史跡の整備等に従事。平成13年（2001）に「平泉」が世界遺産暫定一覧表に記載されて以来、世界遺産登録を主導し、平成23年（2011）、「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」の登録に尽力。令和元年度（2019）には、遺産影響評価基準等策定検討委員会の委員長として、「平泉」の価値の保全のための基礎資料となる「平泉の遺産影響評価に係る研究報告書」の作成にあたった。また、内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室内閣参事官として、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の保全を進めたほか、東日本大震災津波で被災した岩手県沿岸部ほかに関与する文化財の復旧・復興を指導した。

平泉文化研究センターは、「平泉」が世界遺産に登録された翌2012年に、全学による文化財研究組織として設置され、本年(2022)10周年を迎えている。

10年の節目にあたり、国立の文化財研究所から講師を招聘し、今後の平泉研究における海外との学术交流や地域への貢献のあり方等について、アジア的観点から展望する。

日時：令和4年11月19日（土） 13：30～15：00 （開場・受付13：00～）

会場：岩手大学教育学部総合教育研究棟2階北桐ホール（020-8550 盛岡市上田3丁目18-33）
当日受付、無料。定員100名（先着）。

主催：岩手大学平泉文化研究センター

※当日は、検温・マスク着用等の新型コロナウイルス感染症対策を実施します。

※新型コロナウイルスの拡大等により、上記内容に変更がある場合は岩手大学平泉文化研究センターHP（<https://chs.iwate-u.ac.jp>）でお知らせします。

【参加申込・問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター

TEL, FAX 019-621-6529

E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp